

変革とため息

岡内科病院 岡 武



旧軽井沢町に娘の勤務する聖路加国際病院の別荘があります。7月中旬、娘の招待で、1泊2,000円也の別荘ライフを楽しみました。明治30年頃からあるという別荘は町から5~6分入った林の中にあります。昔は浅間山も望めたという若い森が110年経ち、イチイの大木が林立し、木漏れ日も射しここなめます、鳥のさえずりも蝉の鳴き声も聞こえない外界と隔離された静かな所で、小さな石垣に区切られた古い別荘が所々にあり、全体が厚い苔に覆われた、古代に迷い込んだ感じのする所でした。大好きな雰囲気で、私は安らぎを感じながら朝夕の散歩を楽しみました。しかし林から5~6分も出ると、人々の中で、大ショッピング通りがあり、大観光地となっています。新旧の環境の違いに戸惑いながらも2日間を満喫しました。ついでの便に、朝のNHK連ドラ『ファイト』で有名な四万温泉に下の娘の運転で向かいました。山奥にある鄙びた温泉で露天風呂が気持ちよく、くつろいだ一夜を楽しみました。翌朝、昨夜同じ宿にいた1組の容姿端麗な若いカップルが同じバスに乗ってきて、一緒に中之条駅に向かいました。何とこの2人はバス代900円也を割り勘で払いました。私には考えられない現象で、相当驚きながら上野に向かいました。手を加えていない自然環境と手を加えつくした生活環境との著しい相違、若い人たちの生活習慣？のあまりにも大きな違いなど、旅慣れない私には驚きの3日間でした。

一方私達医療を囲む環境はどのようにになっているのでしょうか。介護の世界では2001年国際生活機能分類というものがWHOで採択され、考え方の上で障害面が画期的に見直されてきました。従来の障害というマイナス面よりも生活機能というプラス面を重視し、残存能力のみならず潜在能力を重視し活性化して自立に導こうという考え方だそうです。また、来年4月からは介護予防の面で大きく改革されるそうです。医療の面でも、ストレス等の多い現在生活習慣病をより重視し、治療中心から予防重視の方向が打ち出されるのではとの報道もあります。また医療経済面では、本年10月からの介護給付改革での利用者負担増等で、患者様と同じように私達も、耐え得るかどうか心配な状況です。「かすむ医療政策、くずれる健保、変わる未来、各党負担増を示さず」先般の衆議院選挙期間中の、新聞各紙の見出しだけです。小泉首相の圧勝に終わった今、ほとんど決定しているらしい10月の医療制度改革、来年4月の診療報酬の下げ、キャップ制？とかいうGNPに合わせた医療費抑制まで、伝わる報道には恐ろしささえ感じます。マスメディアの受け売りですが、日本の総医療費に対する公費投入額は欧米先進国中斷然高いそうで、また100%社会保険方式、加えて医療施設の選択権が患者本位であるわが国は、比較的恵まれた医療経済環境にあるとも考えられます。しかしながらこの制度も現在は国保や老人保健へ

の補助、保険料収納率の低下、新しい医療技術の出現や医療に対するニーズの多様化等のため存続が危ぶまれています。このような現状で、しかも医療費の増加は世界的な難問といわれる中、900兆円の財政赤字を持つわが国において、仕方のないことと思いながらも、現在予報？されている厳しい変革に対処しうる能力が私にあるのだろうか？とため息ばかりをついているこの頃です。

先日の旅行中、残った時間を利用して明治神宮を参拝しました。あの難しい時代を乗り越えた明治政府の元勲にあやかろうなどと考えている古い体質の老医には生き残りは難しそうですね。

